

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	山口短期大学
設置者名	学校法人 第二麻生学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	児童教育学科 初等教育学専攻	夜・通信			47	47	7	
	児童教育学科 幼児教育学専攻	夜・通信			28	28	7	
	情報メディア学科	夜・通信			17	17	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学 HP により公表 情報メディア学科 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/R3jitsumu_joho.pdf">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/R3jitsumu_joho.pdf</a> 児童教育学科初等教育学専攻 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/R3jitsumu_shoto.pdf">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/R3jitsumu_shoto.pdf</a> 児童教育学科幼児教育学専攻 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/R3jitsumu_yoji.pdf">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/R3jitsumu_yoji.pdf</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山口短期大学
設置者名	学校法人 第二麻生学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学HPにより公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/R30501yakuinitiran.pdf">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/R30501yakuinitiran.pdf</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2年 (R1.9.16～ R3.9.15)	法律及びコンプライアンスについて
非常勤	幼稚園教諭	2年 (R1.9.16～ R3.9.15)	設置幼稚園の運営等について
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山口短期大学
設置者名	学校法人 第二麻生学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>・授業計画(シラバス)作成過程</p> <p>次年度の科目を担当教員に、シラバスの作成依頼を行う。シラバスの書式は教務委員会で作成した統一の書式がある。それには、「授業の概要」、「到達目標」、「授業内容とすすめ方」、「使用テキスト」「成績評価方法」「実務経験の有無」等を記載するものとなっている。毎年、1月中旬から2月中旬までの間に、教務委員長から次年度の科目担当教員にシラバスの作成依頼を行っている。シラバスの提出先は事務室教務係である。教務担当者が学科ごとにシラバス原稿のとりまとめ作業を行い、3月下旬にシラバスの冊子として印刷したものを完成する。</p> <p>・授業計画(シラバス)の作成・公表時期</p> <p>授業計画(シラバス)は、4月5日の入学式後、4月6日、4月7日に行われる履修オリエンテーション時に学生に冊子を配布し、履修計画を行うために各自、シラバスの内容を熟読するよう指導している。また、各科目の第1回目の授業で、担当者がシラバスの説明を行っている。4月上旬に、大学のホームページ上でもシラバスを公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学 HP により公表</p> <p><a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/syllabus/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/syllabus/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の方法・基準は、科目ごとに担当者がシラバスに記載し、学生に示している。本学ではルーブリックを用いた方法で成績評価を行い、100点満点で成績を入力している。学生の成績は、成績用パソコンで管理する。各期終了時に、学生に成績表を配布する。</p> <p>学則第 22 条に基づき、本学に 2 年以上在学し、第 17 条に定める授業科目を履修し、所定の単位を修得したものについては、卒業認定に関わる教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学則において授業科目の評価は優・良・可・不可の4段階で評価すると規定されている。これに加え、より詳細な成績分布の把握や指導のため平成30年度から試験的にGPAを導入し、令和元年度より運用している。

・GPAに関しては、履修規程に明記するとともに、GPAに関する規定に基づき運用を行っている。

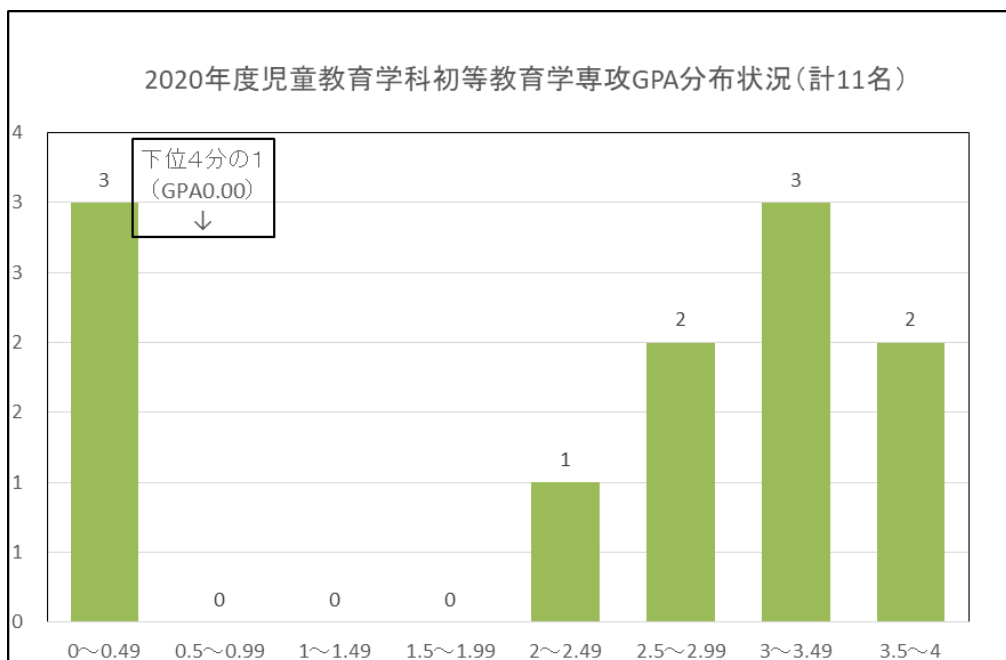
GPAの算出方法は次の通りである

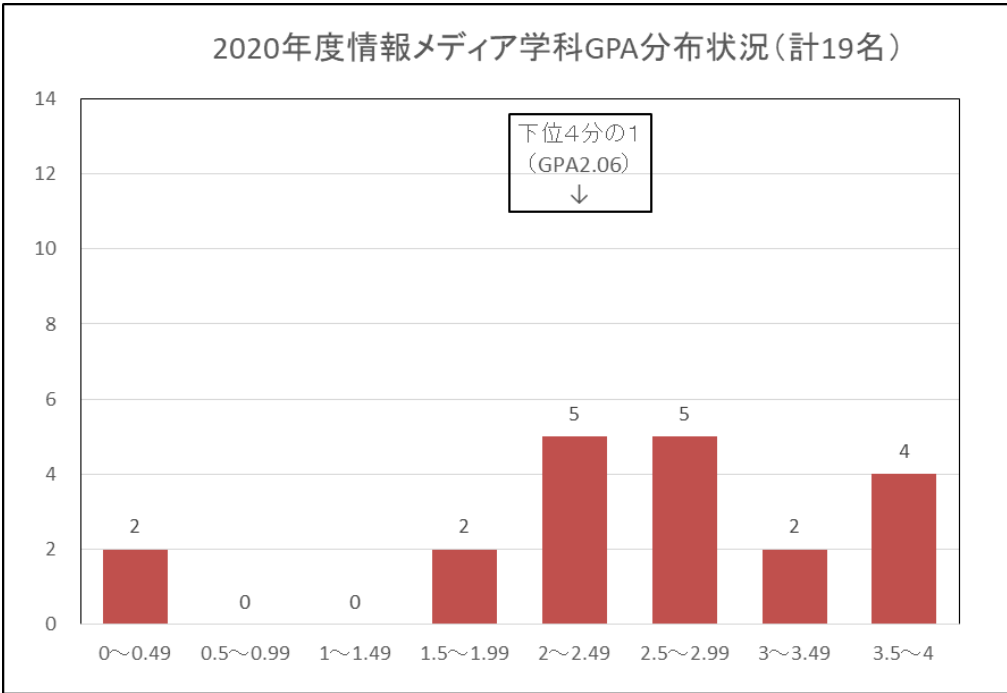
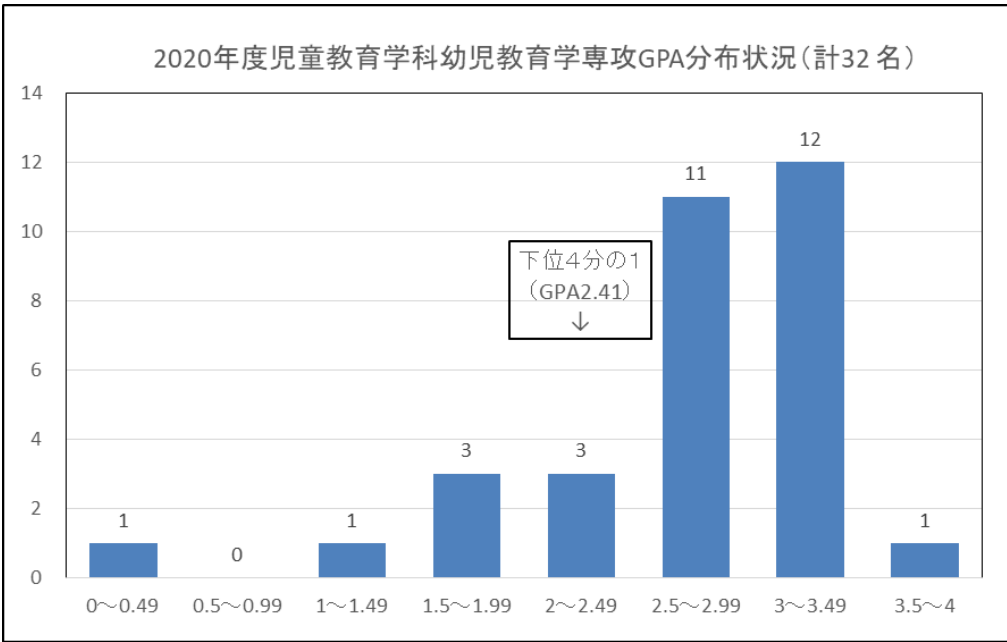
$$\text{算出方法は、GPA} = \frac{(\text{科目の単位数} \times \text{GP})\text{の総和}}{\text{履修登録した単位数の総和}}$$

成績評価（100点満点時）のグレードポイントとの関係は次の通りである

評点	GP
100-90点	4
89-80点	3
79-70点	2
69-60点	1
59-0点	0

運用に当たっては、決められた期限までに履修取消しの手続を行ったものは、履修取消として扱い、GPAには算入しない。取り消しをせずに、履修を放棄した科目のGPは0とし、GPAに算入している。





客観的な指標の  
算出方法の公表方法

本学 HP により公表  
<https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/seisekihyouka.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○卒業の認定方針の策定・公表

卒業の認定方針は、ディプロマ・ポリシーとして策定し、学生便覧に掲載し学生に伝達している。

【児童教育学科 初等教育学専攻のディプロマ・ポリシー】

学則第5条第3項第1号で定めているように「社会的責任を自覚しつつ、教科指導を中核とした実践的素養を身に付けた小学校教諭を育成すると共に、子どもたちの成長を共有していく幼稚園教諭を養成することを目的とする。」という本学科・専攻の目的を踏まえ、68単位を修得し、次のような能力や知識を身に付けた者に短期大学士（教育学）の学位を授与する。

- 1 何事にも誠実に取り組み、教育者にふさわしい専門性と人間性を有していること。
- 2 各教科・道徳等について知識や技能を磨き、実践的な学習指導力を有していること。
- 3 子ども理解に深い関心を持ち、誰とでも誠実にコミュニケーションをとることができること。
- 4 さまざまな教育課題に対して、自ら学ぶ力やチームで取り組む協働性を身につけていること。

【児童教育学科 幼児教育学専攻のディプロマ・ポリシー】

学則第5条第3項第2号で定めているように「社会のニーズを考慮しつつ、協調性とコミュニケーション能力を身に付けた幼稚園教諭を育成すると共に、子どもたちの喜びに共感できる保育士を養成することを目的とする。」という本学科・専攻の目的を踏まえ、68単位を修得し、次のような能力や知識を身に付けた者に短期大学士（教育学）の学位を授与する。

- 1 保育・幼児教育に関する専門的な知識・技能を身につけていること。
- 2 何事にも誠実に取り組み、責任感・使命感を持って保育を実践する力を有していること。
- 3 子どもにかかわるための豊かな表現力とコミュニケーション能力を身につけていること。
- 4 保育・幼児教育に関する課題に対して、自ら学ぶ力やチームで取り組む協働性を身につけていること。

**【情報メディア学科のディプロマ・ポリシー】**

学則第5条第3項第3号で定めているように「多様化する情報化社会において、対応できる伝達媒体に関する技術を実践的に修得すると共に、個々の感性を活かした情報発信のできるIT基盤の技術者を養成することを目的とする。」という学科の目的を踏まえ、66単位を修得し、次のような能力や知識・技術を身につけた者に短期大学士（情報学）の学位を授与する。

- 1 情報通信技術に関する基礎知識を修得していること。
- 2 情報システムを開発するための基本的な知識・技術や情報メディア技術を活用してコンテンツを効果的に制作・発信する能力を身につけ、実践的に応用することができること。
- 3 主体的に課題に取り組み解決する力及び他者と協働する力を身につけていること。

○卒業認定の適切な実施に係る取組の概要

学則第22条に基づき、本学に2年以上在学し、第17条に定める授業科目を履修し、所定の単位を修得したものについては、卒業認定に関わる教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

本学 HP により公表

<https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/gakusoku.pdf#page=5>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	山口短期大学
設置者名	学校法人 第二麻生学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/</a>
収支計算書又は損益計算書	本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/</a>
財産目録	本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/</a>
事業報告書	本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/</a>
監事による監査報告(書)	本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 学校法人第二麻生学園事業計画 対象年度: 令和3年度)
公表方法: 本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/</a>
中長期計画 (名称: 学校法人第二麻生学園第2期中期計画 対象年度: 平成29年度~令和3年度)
公表方法: 本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/aso_yakuin/</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/R1jikotenken.pdf">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/R1jikotenken.pdf</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/dai3hyouka/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/dai3hyouka/</a>
--



(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 児童教育学科初等教育学専攻
<p>教育研究上の目的（公表方法：          本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>）</p> <p>（概要）          児童教育学科初等教育学専攻では、「至心」という建学の精神のもと、小学校の教育や幼児の保育を学ぶ。実践力を養い、子どもに寄り添え、地域と共に手を取り合って子どもたちを育てていける教育者や保育者を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：          本学 HP により公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>）</p> <p>（概要）          児童教育学科初等教育学専攻では、学則第 5 条第 3 項第 1 号で定めているように「社会的責任を自覚しつつ、教科指導を中核とした実践的素養を身に付けた小学校教諭を育成すると共に、子どもたちの成長を共有していく幼稚園教諭を養成することを目的とする。」という本学科・専攻の目的を踏まえ、68 単位を修得し、次のような能力や知識を身につけた者に短期大学士(教育学)の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 何事にも誠実に取り組み、教育者にふさわしい専門性と人間性を有していること。</li> <li>2 各教科・道徳等について知識や技能を磨き、実践的な学習指導力を有していること。</li> <li>3 子ども理解に深い関心をもち、誰とでも誠実にコミュニケーションをとることができること。</li> <li>4 さまざまな教育課題に対して、自ら学ぶ力やチームで取り組む協働性を身につけていること。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針          （公表方法：本学 HP により公表  <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>）</p> <p>（概要）          児童教育学科初等教育学専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げた目的を達成するために、次の方針に基づき専攻別にカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育についての理論を学び、学校現場との連携を図るなど、様々な教育課題について誠実に考えていく機会と場面を提供する。</li> <li>2 各教科や道徳等、子ども理解についての知識や技能を身につけ、授業づくりや教育相談等の教育技術の向上を図り、実践的な指導力を養う。</li> <li>3 少人数指導やアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を通して、思考力・判断力・表現力やコミュニケーション能力、主体的な学習態度を育てる。</li> <li>4 模擬授業や研究協議を通して、教材を作成する創造性やチームで取り組む協働性を養う。</li> </ol>

<p>入学者の受入れに関する方針  (公表方法：本学 HP により公表  <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>)</p>
<p>(概要)  児童教育学科初等教育学専攻では、本学の教育において可能となる人材を輩出するために、専攻別に学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を定め、次のような人材を求めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎的な知識を有している人</li> <li>2 主体的に学ぶ習慣が身についている人</li> <li>3 自ら考え、判断し、行動することができる人</li> <li>4 自ら考え、自分の言葉で思いを語ることができる人</li> <li>5 教育者を目指す意思を持っている人</li> <li>6 他者を尊敬し、感謝する態度を有している人</li> </ol> <p>優れた人材を広く募集するために多様な選抜試験を設け、各々の選抜試験において定められた選考方式に基づき、本学科の求める人物像と合致するか総合的に評価し、入学者を選抜する。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学 HP により公表  (<a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/soshiki.pdf">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/soshiki.pdf</a>)</p>
--

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 児童教育学科幼児教育学専攻
<p>教育研究上の目的          (公表方法：本学 HP により公表  <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>)</p>
<p>(概要)          児童教育学科幼児教育学専攻では、「至心」という建学の精神のもと、乳幼児の保育や教育を学ぶ。実践力を養い、子どもに寄り添え、地域と共に手を取り合って子どもたちを育てていける保育者や教育者を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針          (公表方法：本学 HP により公表  <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>)</p>
<p>(概要)          児童教育学科幼児教育学専攻では、学則第 5 条第 3 項第 2 号で定めているように「社会のニーズを考慮しつつ、協調性とコミュニケーション能力を身に付けた幼稚園教諭を育成すると共に、子どもたちの喜びに共感できる保育士を養成することを目的とする。」という本学科・専攻の目的を踏まえ、68 単位を修得し、次のような能力や知識を身につけた者に短期大学士(教育学)の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育・幼児教育に関する専門的な知識・技能を身につけていること。</li> <li>2 何事にも誠実に取り組み、責任感・使命感を持って保育を実践する力を有していること。</li> <li>3 子どもにかかわるための豊かな表現力とコミュニケーション能力を身につけていること。</li> <li>4 保育・幼児教育に関する課題に対して、自ら学ぶ力やチームで取り組む協働性を身につけていること。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針          (公表方法：本学 HP により公表  <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>)</p>
<p>(概要)          児童教育学科幼児教育学専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げた目的を達成するために、次の方針に基づきカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育・幼児教育に関する知識と技能を、基礎から応用まで段階を追って学ぶことができるようにする。</li> <li>2 保育現場と連動した実践的な学習機会を提供する。</li> <li>3 少人数指導や個別指導、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行い、思考力や表現力、コミュニケーション能力、主体的な学習態度を養う。</li> <li>4 模擬保育や保育総合研究を通して、他者と協働する力や問題解決能力を養う。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針          (公表方法：本学 HP により公表  <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>)</p>
<p>(概要)          児童教育学科幼児教育学専攻では、本学の教育において可能となる人材を輩出するために、学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を定め、次のような人材を求めている。</p>

- 1 基礎的な知識を有している人
- 2 主体的に学ぶ習慣が身についている人
- 3 自ら考え、判断し、行動することができる人
- 4 自ら考え、自分の言葉で思いを語るができる人
- 5 保育者を目指す意思を持っている人
- 6 他者を尊敬し、感謝する態度を有している人

優れた人材を広く募集するために多様な選抜試験を設け、各々の選抜試験において定められた選考方式に基づき、本学科の求める人物像と合致するか総合的に評価し、入学者を選抜する。

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学 HP により公表

(<https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/soshiki.pdf>)

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 情報メディア学科
<p>教育研究上の目的          (公表方法：本学 HP により公表  <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>)</p>
<p>(概要)          情報メディア学科では、今日の情報化社会を支える情報通信技術の基礎を学び、それを応用する力を養う。専門領域における学びを深化させ、多様化する情報化社会において、先端的な専門知識や技術を駆使し、豊かな心を持って社会に貢献できる人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針          (公表方法：本学 HP により公表  <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>)</p>
<p>(概要)          情報メディア学科では、学則第 5 条第 3 項第 3 号で定めているように「多様化する情報化社会において、対応できる伝達媒体に関する技術を実践的に修得すると共に、個々の感性を活かした情報発信のできる IT 基盤の技術者を養成することを目的とする。」という学科の目的を踏まえ、66 単位を修得し、次のような能力や知識・技能を身につけた者に短期大学士(情報学)の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報通信技術に関する基礎知識を修得していること。</li> <li>2 情報システムを開発するための基本的な知識・技能や情報メディア技術を活用してコンテンツを効果的に制作・発信する能力を身につけ、実践的に応用することができること。</li> <li>3 主体的に課題に取り組み解決する力及び他者と協働する力を身につけていること。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針          (公表方法：本学 HP により公表  <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>)</p>
<p>(概要)          情報メディア学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げた目的を達成するために、次の方針に基づきカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ICT 分野を学んでいく上で必要不可欠な情報通信技術の基礎知識を修得する。また、専門的な学びへと円滑に進めるように、数学的基礎知識や基本的な言語・計算能力を養う。</li> <li>2 専門領域の学修に必要な知識・技能を体系的かつ段階的に修得するとともに、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行い、主体的な学習態度、実践的な応用力、論理的な思考力やコミュニケーション能力を養う。</li> <li>3 生涯にわたる多様なキャリア形成に必要な力を育成する。</li> <li>4 卒業研究を通して、主体的に課題に取り組み解決する力、他者と協働する力、論理的な文章作成力、プレゼンテーション能力など、実社会において必要となる総合的な力を養う。</li> <li>5 教育背景が異なる多様な入学者に応じて、導入的な教育を行う。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針          (公表方法：本学 HP により公表  <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/3poricy/</a>)</p>
<p>(概要)          情報メディア学科の掲げる目標に則した人材を育成するために、文系・理系を問わず、次のような人物の入学を求めている。</p>

- 1 ICT 分野に興味を持ち、関連する知識や技能を身につけたい人
  - 2 興味のある分野を主体的に学び、能力を高める意欲のある人
  - 3 基礎知識とコミュニケーション能力を持ち、更に一層の向上を目指したい人
  - 4 責任感と協調性を持ち、主体的に行動できる人
  - 5 知識や技能を生かし、社会に貢献する意欲のある人
- 優れた人材を広く募集するために多様な選抜試験を設け、各々の選抜試験において定められた選考方式に基づき、本学科の求める人物像と合致するか総合的に評価し、入学者を選抜する。

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学 HP により公表

(<https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/soshiki.pdf>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
児童教育学科 初等教育学専攻	—	4人	2人	2人	人	人	8人
児童教育学科 幼児教育学専攻	—	2人	0人	4人	人	人	6人
情報メディア学科	—	5人	2人	0人	人	人	7人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
2人		41人				43人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学HPにより公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/kyouiku/kyoin/">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/kyouiku/kyoin/</a>					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
児童教育学科 初等教育学専攻	30人	10人	33%	60人	27人	45%	0人	0人
児童教育学科 幼児教育学専攻	50人	28人	56%	100人	59人	59%	0人	0人
情報メディア 学科	40人	18人	45%	80人	40人	50%	0人	0人
合計	120人	56人	47%	240人	126人	52%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
児童教育学科 初等教育学専攻	9人 (100%)	1人 (11%)	7人 (78%)	1人 (11%)
児童教育学科 幼児教育学専攻	27人 (100%)	1人 (4%)	23人 (85%)	3人 (11%)
情報メディア学 科	16人 (100%)	3人 (19%)	6人 (37%)	7人 (44%)
合計	52人 (100%)	5人 (10%)	36人 (69%)	11人 (21%)

<p>(主な進学先・就職先) (任意記載事項)</p> <p>【卸売】 (株) メディカルフェイス</p> <p>【公務】 市職員</p> <p>【生活関連サービス業】 (株) 太陽コミュニケーションズ</p> <p>【教育、学習支援】 小学校教員/下松幼稚園/大河内幼稚園/</p> <p>【医療、福祉】 大内光輪保育園/すみれ保育園/双葉保育園/おおとり保育園/きらきら星保育園/</p> <p>■主要進学先</p> <p>大阪教育大学、九州情報大学</p>
<p>(備考)</p>



c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
児童教育学科 初等教育学専攻	17 (100%)	9 (53%)	7 (41%)	1 (6%)	(%)
児童教育学科 幼児教育学専攻	31 (100%)	27 (87%)	0 (0%)	4 (13%)	(%)
情報メディア学科	26 (100%)	16 (62%)	4 (15%)	5 (19%)	1 (4%)
合計	74 (100%)	52 (70%)	11 (15%)	10 (14%)	1 (1%)
(備考)					

### ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) *様式第2号の3から抜粋して再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画（シラバス）作成過程</li> </ul> <p>次年度の科目を担当教員に、シラバスの作成依頼を行う。シラバスの書式は教務委員会で作成した統一の書式がある。それには、「授業の概要」、「到達目標」、「授業内容とすすめ方」、「使用テキスト」「成績評価方法」「実務経験の有無」等を記載するものとなっている。毎年、1月中旬から2月中旬までの間に、教務委員長から次年度の科目担当教員にシラバスの作成依頼を行っている。シラバスの提出先は事務室教務係である。教務担当者が学科ごとにシラバス原稿のとりまとめ作業を行い、3月下旬にシラバスの冊子として印刷したものを完成する。</p>
--

### ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
成績評価及び単位の認定				
① 各科目について、試験による結果や出席その他の平素の成績が60点未満を不合格とし、60点以上得たものを合格として所定の単位を与える。				
② 本学における評語と成績は次のとおりとする。 優：80～100点 良：70～79点 可：60～69点 不可：60点未満				
③ 追試験、再試験の成績は次のとおりとする。 追試験の場合は80点満点とし、再試験の場合は60点満点とする。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	児童教育学科 初等教育学専攻	68単位	○・無	単位
	児童教育学科 幼児教育学専攻	68単位	○・無	単位
	情報メディア学科	66単位	○・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：本学HPにより公表 <a href="https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/seisekiyouka.pdf">https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/wp-content/uploads/seisekiyouka.pdf</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学 HP により公表

<https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/shisetsu/kyoikukankyo/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	児童教育学科	520,000 円	200,000 円	360,000 円	施設設備費 260,000 円 実験実習費 100,000 円
	情報メディア 学科	560,000 円	200,000 円	420,000 円	施設設備費 280,000 円 実験実習費 140,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

修学指導係と進路指導係等で形成される学生支援センターを設置している。修学指導係は、前期・後期の各期に修学オリエンテーションを実施し、資格や単位修得のためのサポートをしている。進路指導係は、進路ガイダンスを適切な時期に実施し、就職先開拓や就職情報の提供及び就職状況の把握をしている。

また、学生10名未満を一人の教員が相談・指導等を行うチューター制をとると共に、オフィス・アワーをタイムテーブル上に組み込んでいる。学生支援センターでは、修学指導、進路指導、健康管理係が連携して、オフィス・アワーを有効的に活用し、全体指導、チューター個別指導を使い分け、きめ細かい指導を行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

進路指導係による進路ガイダンスに加え、チューターが一人ひとりの進路相談にあたり、一緒になって学生の将来について考えている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生生活に伴う様々な問題・悩みを一緒に考え、学生生活をより豊かなものとするために学生相談室を設置している。臨床心理士・公認心理師が相談に応じ、必要に応じてチューターと連携し、学生の支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学 HP により公表

<https://www.yamaguchi-jc.ac.jp/annai/koukai/disclosure/>

## 大学等の設置者の理事(役員)名簿

令和3年4月1日現在

区分	氏名	常勤／ 非常勤	学内／ 学外	就任年月日	任期	選任条項	
理事長	麻生隆史	非常勤	学内	平成8年7月5日	H30.4.1～ R4.3.31	6-1-1	学長
副理事長	砥上五郎	非常勤	学内	平成9年9月16日	R1.9.16～ R3.9.15	6-1-2	評議員 (評議員会選任)
専務理事	麻生尚寛	非常勤	学内	平成31年4月1日	R1.9.16～ R3.9.15	6-1-3	学識経験者 (理事会選任)
理事	大崎 堅	常勤	学内	平成24年4月1日	R1.9.16～ R3.9.15	6-1-2	評議員 (評議員会選任)
理事	中島 学	常勤	学内	平成30年4月1日	R1.9.16～ R3.9.15	6-1-2	評議員 (評議員会選任)
理事	樋口佳恵	非常勤	学外	平成20年4月1日	R1.9.16～ R3.9.15	6-1-2	評議員 (評議員会選任)
理事	橋川澄子	非常勤	学外	平成29年9月16日	R1.9.16～ R3.9.15	6-1-2	評議員 (評議員会選任)

確認申請を行う年度において設置している学部等（学科）の一覧（山口短期大学）

令和3年度

学部	学科	入学定員	収容定員
	児童教育学科 初等教育学専攻	30人	60人
	児童教育学科 幼児教育学専攻	50人	100人
	情報メディア学科	40人	80人

# 事業活動収支計算書

平成30年4月1日から  
平成31年3月31日まで

学校法人第二麻生学園  
(単位 円)

		科目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	180,712,000	178,073,670	2,638,330
		授 業 料	96,706,000	92,143,400	4,562,600
		入 学 金	17,890,000	18,090,000	△ 200,000
		実 験 実 習 料	18,870,000	22,222,270	△ 3,352,270
		施設設備資金	46,719,000	45,032,000	1,687,000
		冷 暖 房 費	527,000	586,000	△ 59,000
		手数料	1,848,000	2,511,680	△ 663,680
		入学検定料	1,585,000	2,132,500	△ 547,500
		試 験 料	100,000	235,000	△ 135,000
		証 明 手 数 料	163,000	144,180	18,820
		寄付金	910,000	1,156,651	△ 246,651
		特別寄付金	910,000	1,110,000	△ 200,000
		現物寄付	0	46,651	△ 46,651
		経常費等補助金	56,096,000	70,860,729	△ 14,764,729
		国庫補助金	22,000,000	31,655,000	△ 9,655,000
		地方公共団体補助金	34,096,000	39,205,729	△ 5,109,729
		県補助金	21,624,000	24,641,156	△ 3,017,156
		市補助金	12,472,000	14,564,573	△ 2,092,573
		付随事業収入	13,122,000	13,349,870	△ 227,870
		補助活動収入	12,874,000	13,109,870	△ 235,870
		寄 宿 舎	10,125,000	10,001,870	123,130
		スクールバス費収入	1,959,000	1,995,000	△ 36,000
		預り保育料収入	790,000	1,113,000	△ 323,000
		公開講座収入	14,000	6,000	8,000
		受託事業収入	234,000	234,000	0
		雑収入	3,783,000	5,480,714	△ 1,697,714
		施設設備利用料	2,278,000	2,642,722	△ 364,722
	退職金財団交付金収入	0	704,700	△ 704,700	
	その他の雑収入	1,505,000	2,133,292	△ 628,292	
	<b>教育活動収入計</b>	<b>256,471,000</b>	<b>271,433,314</b>	<b>△ 14,962,314</b>	
	事業活動支出の部	人件費	195,355,000	194,814,776	540,224
		教員人件費	158,567,000	156,119,691	2,447,309
		職員人件費	33,248,000	32,856,716	391,284
		役員報酬	3,540,000	3,050,038	489,962
		退職給与引当金繰入額	0	2,788,331	△ 2,788,331
		教育研究経費	202,258,000	185,220,195	17,037,805
		消耗品費	4,244,000	4,203,623	40,377
		光熱水費	11,730,000	9,809,733	1,920,267
		旅費交通費	1,481,000	2,134,474	△ 653,474
		車輛燃料費	50,000	55,241	△ 5,241
		新聞図書費	118,000	132,330	△ 14,330
		印刷製本費	930,000	1,671,322	△ 741,322
		通信費	2,821,000	2,669,109	151,891
		運搬費	8,000	8,096	△ 96
		修繕費	156,000	921,478	△ 765,478
		実験実習費	2,950,000	2,282,704	667,296
		賃借料	863,000	699,886	163,114
公租公課		88,000	87,900	100	
損害保険料		581,000	568,155	12,845	
諸会費		882,000	930,400	△ 48,400	
福利厚生費		729,000	781,392	△ 52,392	
奨学費		101,420,000	97,157,000	4,263,000	
支払手数料		15,683,000	14,622,753	1,060,247	
雑費		0	5,000	△ 5,000	
減価償却額	57,524,000	46,479,599	11,044,401		

教育活動収支	事業活動支出の部	管理経費	50,469,000	55,200,131	△ 4,731,131
		消耗品費	123,000	122,272	728
		光熱水費	1,860,000	1,575,010	284,990
		旅費交通費	5,302,000	3,822,353	1,479,647
		車輛燃料費	523,000	635,560	△ 112,560
		印刷製本費	4,487,000	3,455,222	1,031,778
		通信費	770,000	525,090	244,910
		運搬費	618,000	178,095	439,905
		修繕費	4,307,000	4,088,308	218,692
		賃借料	1,905,000	1,262,726	642,274
		広報費	5,606,000	5,855,391	△ 249,391
		公租公課	211,000	274,860	△ 63,860
		損害保険料	276,000	265,705	10,295
		諸会費	380,000	326,950	53,050
		福利厚生費	218,000	245,460	△ 27,460
		支払手数料	17,871,000	18,709,102	△ 838,102
		会議費	0	35,220	△ 35,220
		雑費	1,478,000	1,546,357	△ 68,357
		減価償却額	4,534,000	12,276,450	△ 7,742,450
		徴収不能額等	0	0	0
徴収不能引当金繰入額	0	0	0		
教育活動支出計	448,082,000	435,235,102	12,846,898		
教育活動収支差額	△ 191,611,000	△ 163,801,788	△ 27,809,212		
教育活動外収支	収入の活動部	受取利息・配当金	39,000	1,020,413	△ 981,413
		その他の受取利息・配当金	39,000	1,020,413	△ 981,413
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	39,000	1,020,413	△ 981,413	
	支出の活動部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計		0	0	0	
教育活動外収支差額	39,000	1,020,413	△ 981,413		
経常収支差額	△ 191,572,000	△ 162,781,375	△ 28,790,625		
特別収支	収入の活動部	資産売却差額	0	626,279	△ 626,279
		車輛売却差額	0	626,279	△ 626,279
		その他の特別収入	0	1,980,672	△ 1,980,672
		現物寄付	0	1,980,672	△ 1,980,672
		特別収入計	0	2,606,951	△ 2,606,951
	支出の活動部	資産処分差額	0	115,977	△ 115,977
		施設処分差額	0	1	△ 1
		機器備品処分差額	0	99,801	△ 99,801
		車輛処分差額	0	2	△ 2
		その他の資産処分差額	0	16,173	△ 16,173
		その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	115,977	△ 115,977		
特別収支差額	0	2,490,974	△ 2,490,974		
[予備費]	0	0	0		
基本金組入前当年度収支差額	△ 191,572,000	△ 160,290,401	△ 31,281,599		
基本金組入額合計	△ 1,813,000	△ 6,824,203	5,011,203		
当年度収支差額	△ 193,385,000	△ 167,114,604	△ 26,270,396		
前年度繰越収支差額	△ 467,879,000	△ 467,878,905	△ 95		
基本金取崩額	0	93,266,876	△ 93,266,876		
翌年度繰越収支差額	△ 661,264,000	△ 541,726,633	△ 119,537,367		
(参考)					
事業活動収入計	256,510,000	275,060,678	△ 18,550,678		
事業活動支出計	448,082,000	435,351,079	12,730,921		

# 事業活動収支計算書

平成31年4月1日から  
令和2年3月31日まで

学校法人第二麻生学園  
(単位 円)

		科目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	166,882,000	167,292,560	△ 410,560
		授 業 料	87,187,000	85,084,770	2,102,230
		入 学 金	16,150,000	16,550,000	△ 400,000
		実 験 実 習 料	20,968,000	20,240,850	727,150
		施設設備資金	42,167,000	40,871,940	1,295,060
		冷 暖 房 費	410,000	465,000	△ 55,000
		施設等利用給付費	0	4,080,000	△ 4,080,000
		手数料	1,938,000	1,911,040	26,960
		入学検定料	1,675,000	1,615,000	60,000
		試 験 料	100,000	181,500	△ 81,500
		証 明 手 数 料	163,000	114,540	48,460
		寄付金	840,000	1,065,730	△ 225,730
		一般寄付金	840,000	1,040,000	△ 200,000
		現物寄付	0	25,730	△ 25,730
		経常費等補助金	49,114,000	50,453,605	△ 1,339,605
		国庫補助金	20,000,000	25,128,000	△ 5,128,000
		地方公共団体補助金	29,114,000	25,325,605	3,788,395
		県補助金	19,792,000	19,883,520	△ 91,520
		市補助金	9,322,000	5,442,085	3,879,915
		付随事業収入	11,531,000	11,544,000	△ 13,000
		補助活動収入	11,281,000	11,288,000	△ 7,000
		寄宿舎収入	7,924,000	7,920,000	4,000
		スクールバス費収入	1,521,000	1,593,000	△ 72,000
		預り保育料収入	900,000	952,500	△ 52,500
	子育て支援収入	936,000	822,500	113,500	
	公開講座収入	16,000	22,000	△ 6,000	
	受託事業収入	234,000	234,000	0	
	雑収入	3,010,000	9,911,386	△ 6,901,386	
	施設設備利用料	2,278,000	2,775,627	△ 497,627	
	退職金財団交付金収入	0	5,739,180	△ 5,739,180	
	退職給与引当金戻入額	0	340,563	△ 340,563	
	その他の雑収入	732,000	1,056,016	△ 324,016	
	<b>教育活動収入計</b>	<b>233,315,000</b>	<b>242,178,321</b>	<b>△ 8,863,321</b>	
	事業活動支出の部	人件費	185,096,000	195,484,964	△ 10,388,964
教員人件費		150,037,000	153,328,799	△ 3,291,799	
職員人件費		30,880,000	30,674,983	205,017	
役員報酬		2,700,000	2,427,371	272,629	
退職金		1,479,000	0	1,479,000	
退職給与引当金繰入額		0	9,053,811	△ 9,053,811	
教育研究経費		180,590,000	172,477,579	8,112,421	
消耗品費		4,653,000	3,898,611	754,389	
光熱水費		13,330,000	10,833,938	2,496,062	
旅費交通費		1,557,000	1,063,245	493,755	
車輛燃料費		60,000	50,422	9,578	
新聞図書費		166,000	127,516	38,484	
印刷製本費		1,260,000	1,245,868	14,132	
通信費		2,836,000	2,580,989	255,011	
運搬費		10,000	21,752	△ 11,752	
修繕費		393,000	1,037,816	△ 644,816	
実験実習費		2,950,000	2,668,822	281,178	
賃借料		863,000	510,074	352,926	
損害保険料		581,000	566,465	14,535	
諸会費		926,000	783,350	142,650	
福利厚生費		865,000	964,488	△ 99,488	
奨学費		85,160,000	84,199,940	960,060	
支払手数料		15,694,000	15,402,767	291,233	
雑費		2,000	1,720	280	
減価償却額	49,284,000	46,519,796	2,764,204		

教育活動収支	事業活動支出の部	管理経費	54,559,000	47,417,019	7,141,981
		消耗品費	404,000	409,447	△ 5,447
		光熱水費	1,860,000	1,262,714	597,286
		旅費交通費	5,082,000	3,460,384	1,621,616
		車燃料費	585,000	435,234	149,766
		新聞図書費	0	4,400	△ 4,400
		印刷製本費	3,933,000	3,788,956	144,044
		通信費	780,000	540,131	239,869
		運搬費	632,000	196,659	435,341
		修繕費	906,000	193,025	712,975
		賃借料	1,807,000	1,232,274	574,726
		広報費	7,406,000	7,246,850	159,150
		公租公課	175,000	158,185	16,815
		損害保険料	276,000	206,225	69,775
		諸会費	410,000	358,150	51,850
		福利厚生費	235,000	201,960	33,040
		支払手数料	17,394,000	13,795,914	3,598,086
		会議費	0	12,080	△ 12,080
		雑費	1,489,000	1,458,690	30,310
		私立大学等経常費補助金返還支出	35,000	35,000	0
		減価償却額	11,150,000	12,420,741	△ 1,270,741
徴収不能額等	0	0	0		
徴収不能引当金繰入額	0	0	0		
教育活動支出計	420,245,000	415,379,562	4,865,438		
教育活動収支差額	△ 186,930,000	△ 173,201,241	△ 13,728,759		
教育活動外収支	収事業の活動部	受取利息・配当金	2,000	762,318	△ 760,318
		その他の受取利息・配当金	2,000	762,318	△ 760,318
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	2,000	762,318	△ 760,318	
	支事業の活動部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計		0	0	0	
教育活動外収支差額	2,000	762,318	△ 760,318		
経常収支差額	△ 186,928,000	△ 172,438,923	△ 14,489,077		
特別収支	収事業の活動部	資産売却差額	0	59,999	△ 59,999
		車 輛 売 却 差 額	0	59,999	△ 59,999
		その他の特別収入	0	478,420	△ 478,420
		現物寄付	0	478,420	△ 478,420
	特別収入計	0	538,419	△ 538,419	
	支事業の活動部	資産処分差額	0	95,046	△ 95,046
		機器備品処分差額	0	62	△ 62
		その他の資産処分差額	0	94,984	△ 94,984
その他の特別支出		0	0	0	
特別支出計	0	95,046	△ 95,046		
特別収支差額	0	443,373	△ 443,373		
[予備費]	0		0		
基本金組入前当年度収支差額	△ 186,928,000	△ 171,995,550	△ 14,932,450		
基本金組入額合計	△ 4,517,000	△ 3,539,525	△ 977,475		
当年度収支差額	△ 191,445,000	△ 175,535,075	△ 15,909,925		
前年度繰越収支差額	△ 541,726,000	△ 541,726,633	633		
基本金取崩額	0	480,650	△ 480,650		
翌年度繰越収支差額	△ 733,171,000	△ 716,781,058	△ 16,389,942		
(参考)					
事業活動収入計	233,317,000	243,479,058	△ 10,162,058		
事業活動支出計	420,245,000	415,474,608	4,770,392		



# 事業活動収支計算書

令和2年4月1日から  
令和3年3月31日まで

学校法人第二麻生学園  
(単位 円)

		科目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	156,552,000	157,382,820	△ 830,820
		授業料	67,936,000	68,600,770	△ 664,770
		入学金	13,700,000	14,550,000	△ 850,000
		実験実習料	17,704,000	17,769,980	△ 65,980
		施設設備資金	36,282,000	35,695,960	586,040
		冷暖房費	403,000	437,500	△ 34,500
		施設等利用給付費	20,527,000	20,328,610	198,390
		手数料	1,930,000	1,838,200	91,800
		入学検定料	1,585,000	1,560,000	25,000
		試験料	182,000	136,500	45,500
		証明手数料	163,000	141,700	21,300
		寄付金	1,220,000	1,259,640	△ 39,640
		特別寄付金	400,000	400,000	0
		一般寄付金	820,000	820,000	0
		現物寄付	0	39,640	△ 39,640
		経常費等補助金	42,049,000	49,904,080	△ 7,855,080
		国庫補助金	21,004,000	28,948,600	△ 7,944,600
		地方公共団体補助金	21,045,000	20,955,480	89,520
		県補助金	20,486,000	20,225,434	260,566
		市補助金	559,000	730,046	△ 171,046
		付随事業収入	11,651,000	6,425,000	5,226,000
		補助活動収入	7,893,000	6,224,000	1,669,000
		寄宿舎収入	4,820,000	3,475,000	1,345,000
		ｽｸｰﾙﾊﾞｽ費収入	1,491,000	1,476,000	15,000
		預り保育料収入	900,000	835,000	65,000
		子育て支援収入	682,000	438,000	244,000
		公開講座収入	14,000	0	14,000
	受託事業収入	3,744,000	201,000	3,543,000	
	雑収入	12,414,000	8,544,280	3,869,720	
	施設設備利用料	2,823,000	2,285,435	537,565	
	退職金財団交付金収入	0	1,117,080	△ 1,117,080	
	退職給与引当金戻入額				
	その他の雑収入	9,591,000	5,141,765	4,449,235	
<b>教育活動収入計</b>	<b>225,816,000</b>	<b>225,354,020</b>	<b>461,980</b>		
事業活動支出の部	人件費	176,657,000	174,871,963	1,785,037	
	教員人件費	146,235,000	144,446,584	1,788,416	
	職員人件費	24,674,000	23,897,395	776,605	
	役員報酬	2,700,000	2,546,083	153,917	
	退職金	3,048,000	0	3,048,000	
	退職給与引当金繰入額	0	3,981,901	△ 3,981,901	
	教育研究経費	172,871,000	158,522,450	14,348,550	
	消耗品費	5,115,000	3,824,190	1,290,810	
	光熱水費	13,330,000	10,138,817	3,191,183	
	旅費交通費	1,359,000	187,240	1,171,760	
	車輛燃料費	80,000	40,768	39,232	
	新聞図書費	210,000	119,593	90,407	
	印刷製本費	1,575,000	1,308,736	266,264	
	通信費	2,836,000	2,618,798	217,202	
	運搬費	60,000	43,122	16,878	
	修繕費	1,679,000	2,051,065	△ 372,065	
	実験実習費	2,950,000	1,959,922	990,078	
	賃借料	765,000	767,081	△ 2,081	
	損害保険料	653,000	636,860	16,140	
	諸会費	941,000	677,100	263,900	
	福利厚生費	1,615,000	805,904	809,096	
	奨学費	75,462,000	71,240,100	4,221,900	
	支払手数料	15,732,000	16,423,043	△ 691,043	
	雑費	2,000	1,900	100	
	減価償却額	48,507,000	45,678,211	2,828,789	

教育活動収支	事業活動支出の部	管理経費	59,333,000	53,927,674	5,405,326
		消耗品費	211,000	207,253	3,747
		光熱水費	1,860,000	974,194	885,806
		旅費交通費	5,082,000	2,239,118	2,842,882
		車輜燃料費	550,000	323,540	226,460
		新聞図書費	0	0	0
		印刷製本費	4,120,000	3,857,260	262,740
		通信費	847,000	553,299	293,701
		運搬費	772,000	343,145	428,855
		修繕費	1,460,000	1,333,996	126,004
		賃借料	1,859,000	1,273,813	585,187
		広報費	6,334,000	5,893,771	440,229
		公租公課	189,000	184,236	4,764
		損害保険料	293,000	292,670	330
		諸会費	413,000	231,450	181,550
		福利厚生費	267,000	264,550	2,450
		支払手数料	22,809,000	23,029,212	△ 220,212
		会議費			
		雑費	1,015,000	445,189	569,811
		私立大学等経常費補助金返還支出	0	0	0
		減価償却額	11,252,000	12,480,978	△ 1,228,978
徴収不能額等	0	370,502	△ 370,502		
徴収不能額	0	370,502	△ 370,502		
教育活動支出計	408,861,000	387,692,589	21,168,411		
教育活動収支差額	△ 183,045,000	△ 162,338,569	△ 20,706,431		
教育活動外収支	収入の活動部	受取利息・配当金	701,000	631,292	69,708
		その他の受取利息・配当金	701,000	631,292	69,708
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	701,000	631,292	69,708	
	支出の活動部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	701,000	631,292	69,708		
経常収支差額			△ 182,344,000	△ 161,707,277	△ 20,636,723
特別収支	収入の活動部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	183,942	△ 183,942
		現物寄付	0	183,942	△ 183,942
		特別収入計	0	183,942	△ 183,942
	支出の活動部	資産処分差額	0	20,000	△ 20,000
		その他の資産処分差額	0	20,000	△ 20,000
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	20,000	△ 20,000
		特別収支差額	0	163,942	△ 163,942
		〔予備費〕	0		0
基本金組入前当年度収支差額			△ 182,344,000	△ 161,543,335	△ 20,800,665
基本金組入額合計			△ 10,045,000	△ 6,512,329	△ 3,532,671
当年度収支差額			△ 192,389,000	△ 168,055,664	△ 24,333,336
前年度繰越収支差額			△ 716,781,000	△ 716,781,058	58
基本金取崩額			0	8,020,000	△ 8,020,000
翌年度繰越収支差額			△ 909,170,000	△ 876,816,722	△ 32,353,278
(参考)					
事業活動収入計			226,517,000	226,169,254	347,746
事業活動支出計			408,861,000	387,712,589	21,148,411

# 貸借対照表

令和3年3月31日

学校法人第二麻生学園  
(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	1,756,076,299	1,807,864,760	△ 51,788,461
有形固定資産	1,754,703,260	1,806,380,321	△ 51,677,061
土地	506,577,021	506,577,021	0
建物	1,135,704,274	1,182,406,754	△ 46,702,480
構築物	8,865,882	8,974,548	△ 108,666
教育研究用機器備品	21,034,544	24,690,166	△ 3,655,622
管理用機器備品	3,247,280	3,484,937	△ 237,657
図書	76,627,377	76,314,519	312,858
車輜	2,646,882	3,932,376	△ 1,285,494
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	1,373,039	1,484,439	△ 111,400
電話加入権	432,199	452,199	△ 20,000
出資金	906,300	899,700	6,600
預託金	34,540	34,540	0
敷金	0	98,000	△ 98,000
流動資産	597,232,007	704,899,425	△ 107,667,418
現金預金	594,450,255	698,741,063	△ 104,290,808
未収入金	2,668,012	5,934,372	△ 3,266,360
前払金	113,740	223,990	△ 110,250
資産の部合計	2,353,308,306	2,512,764,185	△ 159,455,879
負債の部			
固定負債	162,319,261	162,476,003	△ 156,742
退職給与引当金	162,319,261	162,476,003	△ 156,742
流動負債	61,391,589	59,147,391	2,244,198
未払金	18,452,742	20,134,097	△ 1,681,355
前受金	36,947,900	33,294,860	3,653,040
預り金	5,990,947	5,718,434	272,513
負債の部合計	223,710,850	221,623,394	2,087,456
純資産の部			
基本金	3,006,414,178	3,007,921,849	△ 1,507,671
第1号基本金	2,978,414,178	2,971,921,849	6,492,329
第4号基本金	28,000,000	36,000,000	△ 8,000,000
繰越収支差額	△ 876,816,722	△ 716,781,058	△ 160,035,664
翌年度繰越収支差額	△ 876,816,722	△ 716,781,058	△ 160,035,664
純資産の部合計	2,129,597,456	2,291,140,791	△ 161,543,335
負債及び純資産の部合計	2,353,308,306	2,512,764,185	△ 159,455,879